

光線医療センター専属研究員 中山 沢 特任助教の退職

私事で恐縮でございますが、3月末をもって現職を退職することになりました。本来であれば直接ご挨拶をすべきところ、ニュースレターでの挨拶にて失礼いたします。高知大学における2年半の活動は私生活も含めて、大変充実しておりました。まささらな実験室から、工事を手配してBSL2の実験室を構築した日々は、毎日がDIYをしているようで本当に勉強になりました。

共著を含めて6報の英文論文(別途投稿中2報)、4報の和文論文(別途投稿中1報)を出版し、最大規模である光線医療の国際学会、“International Photodynamic Association World Congress”および“Photodynamic Therapy and Photodiagnosis Update”において口頭発表を行い、高知大学をアピールすることが叶いました。これらは、ひとえに皆様のご尽力とお力添えがあったからこそです。



直近の実験室

特に共同研究に携わってくださりました皆様方、研究支援を頂いた下記の助成金(獲得日時順)には厚く御礼を申し上げます。

1. 真珠腫の外科切除における術中光線力学診断の開発, 小柳財団, 代表
2. 同位体顕微鏡による薬剤の細胞内局在解析, 生命(いのち)の基金, 代表
3. ナノ光アンテナ材料を活用してポルフィリンを補足する医工連携プロジェクト, 病院長裁量経費, 代表
4. 泌尿器癌におけるリソソームを標的とした新規光線力学的治療法の開発, 病院長裁量経費, 分担
5. 葉酸代謝経路阻害下における5-ALAを用いた光線力学療法の評価, 金沢大学がん進展制御研究所共同研究, 代表
6. 分子生物学に基づく Allopregnanolone が術後せん妄の抑制に寄与する機構の解明, 学長裁量経費, 代表
7. ナノ光アンテナ材料を活用したがん細胞内在色素“PPIX”の超高感度検出法の開発, 学長裁量経費, 分担
8. 休眠がん細胞を標的とした光線力学的療法の開発, 科学研究費助成事業, 代表
9. ポルフィリンを用いた光線力学技術の医工連携プロジェクト, 病院長裁量経費, 代表
10. がん細胞内ポルフィリン類の発光増強技術の開発とその低侵襲性がん診断・治療への応用, 学長裁量経費, 分担



高知県の名所「にこ淵」にて

光線医療センター ニュースレター

2021年 3月 29日 発行

発行責任者・編集責任者：井上 啓史

(高知大学医学部 光線医療センター センター長)

<https://www.kochi->

[ms.ac.jp/~hsptl/guidance/onespost/photodynamic.html](https://www.kochi-ms.ac.jp/~hsptl/guidance/onespost/photodynamic.html)